

一般廃棄物処理施設に係る全国のインフラ維持管理・更新費見通しの推計

一般廃棄物処理施設に係る全国のインフラ維持管理・更新費見通しの推計を実施したため、その結果を以下のとおり共有する。

1. 推計方法

(1) 稼働中の一般廃棄物処理施設

平成 29 年度一般廃棄物処理事業実態調査（以下、「H29 実態調査」という）から、全国の稼働中の一般廃棄物処理施設の種類の別、稼働年数別の別、規模別の稼働数をカウントする。

(2) 一般廃棄物処理施設の稼働年数

長寿命化総合計画で示されている延命化工事実施年数（運転開始から何年目に延命化工事を行っているか）及び、延命化工事後の総運転年数を一般廃棄物処理施設の種類の別に整理する。

(3) 一般廃棄物処理施設の延命化工事費・新施設建設費

長寿命化総合計画で示されている延命化工事費と新施設建設費を施設規模で除算した延命化工事費単価と新施設建設費単価を一般廃棄物処理施設の種類の別に整理する。

(4) 一般廃棄物処理施設の維持管理補修費

長寿命化総合計画で示されている維持管理補修費を施設建設費で除算した補修率を一般廃棄物処理施設の種類の別に整理する。

(5) 一般廃棄物処理施設の維持管理・更新費見通しの推計

稼働中の一般廃棄物処理施設について、現在の稼働年数から、延命化工事を行う年数、工事費、施設更新を行う年数、工事費、維持管理補修費を上記のデータから推計し、すべての施設について積み上げて、今後 10 年間の維持管理・更新費見通しの推計を行う。

(6) シナリオの設定

個別施設計画の策定率について、次の 3 つのシナリオを想定し、今後の維持管理費、更新費の見通しについて、試算を行った。

シナリオ 1：2020 年に個別施設計画がすべて策定された場合

シナリオ 2：従来通りのペースで個別施設計画が策定された場合

シナリオ 3：2018 年以降新規に計画策定されない場合

2. 推計結果

(1) 個別施設計画策定有無による維持管理費、更新費の計算方法

表2. 1 個別施設計画策定有無による維持管理費、更新費の計算方法

	延命化工事	更新工事	維持管理費
個別施設計画策定施設	「延命化工事開始年」に延命化工事を実施	「延命化後総運転年数」に達した時に当初施設の0.7倍の規模の施設を更新	経過年数に基づき計算
未策定施設	なし	「延命化なしの更新年数」に達した時に当初施設の0.8倍の規模で施設を更新	経過年数に基づき計算

(2) 計算結果

各シナリオの計算結果を図2. 1～3に示す。

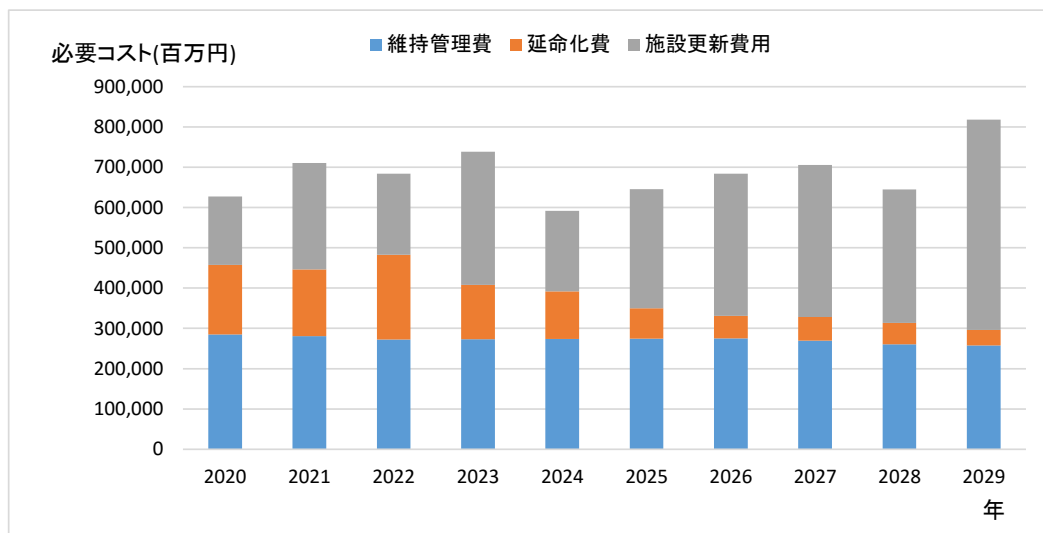


図2. 1 今後10年間の維持管理・更新費推計 (シナリオ1)

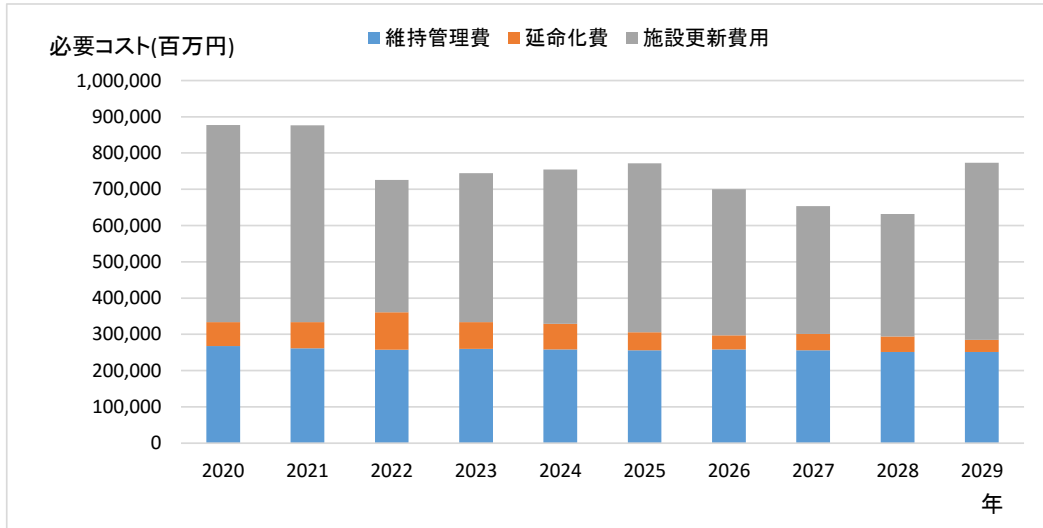


図2. 2 今後10年間の維持管理・更新費推計 (シナリオ2)

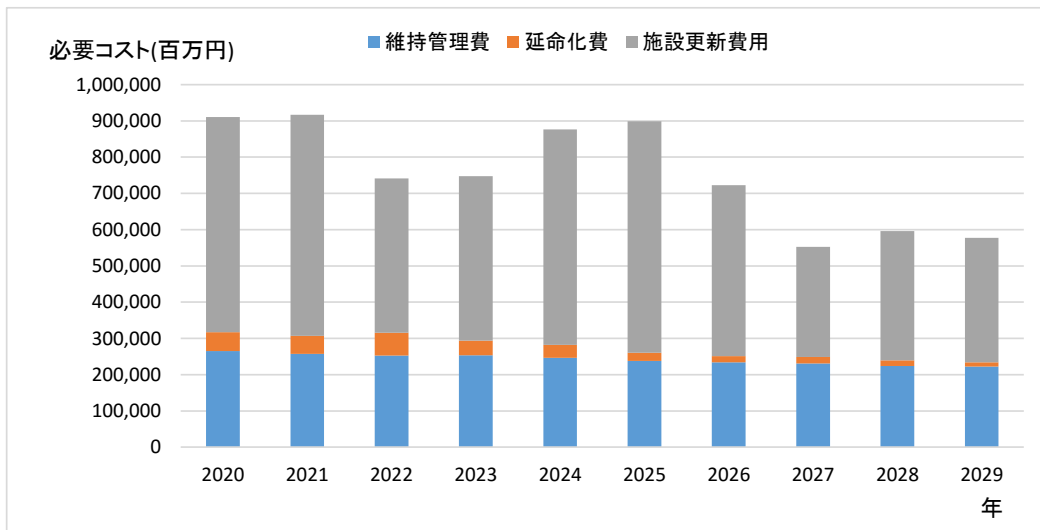


図2. 3 今後10年間の維持管理・更新費推計 (シナリオ3)

シナリオ1では、当初は延命化費用が比較的高くなるが、更新費用は少なくなっている。一方、シナリオ2、シナリオ3では、当初の施設更新費用が多額になることがわかる。

これらの3シナリオ比較のために年度別にまとめたものを図2. 4に、総費用を図2. 5に示す。総費用ではシナリオ1が6,000億円以上低くなることがわかる。

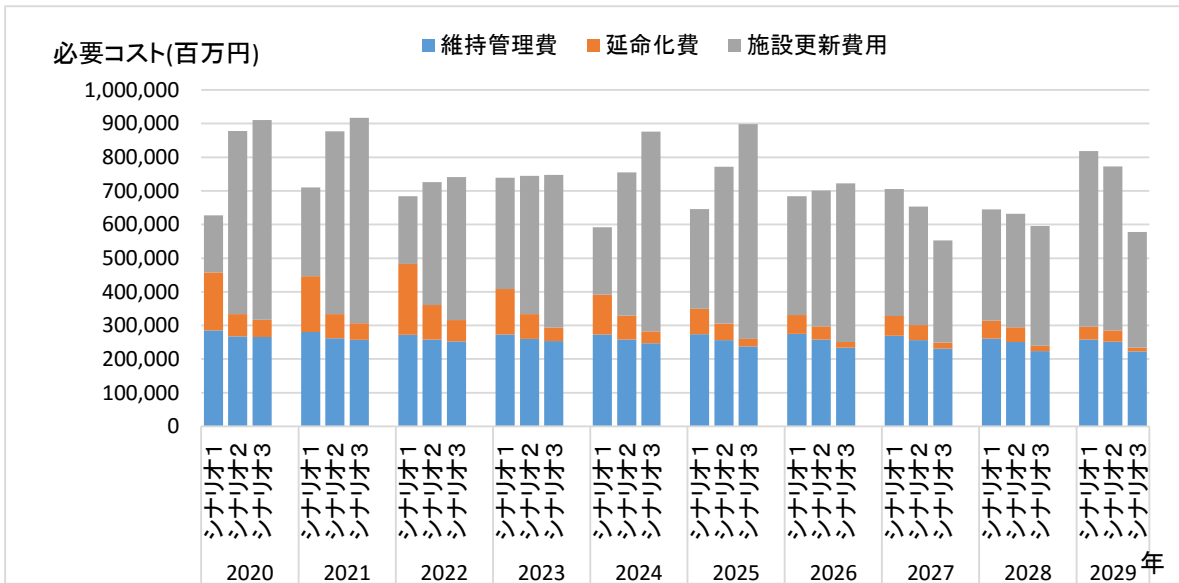


図 2. 4 年度別シナリオ比較

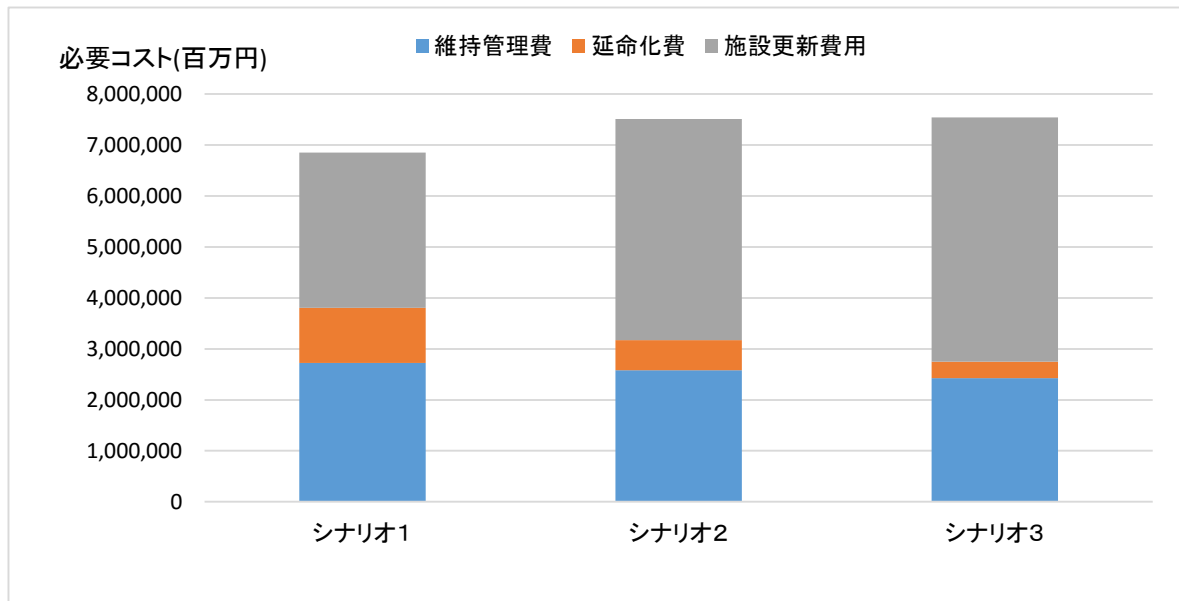


図 2. 5 総費用シナリオ比較